



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：SOFA 交渉終結の見通し

(7月25日付サウト・アル=イラク)

7月25日付「サウト・アル=イラク(イラクの声)」インターネット版は、ロンドン発行「アル・ハヤート」を引用し、米・イラク間の協定締結交渉が2週間以内に終了する、イラク国民議会での承認を得るために来月中旬に特別に議会が召集される旨報じている。主要議員インタビュー及び概要以下の通り。

1. ジャラルール・アルディーン・アルサギール議員(国家安全保障政治委員会メンバー)の発言。

(1) 合意の形式を見出す交渉は、満足いく結果に落ち着いた。イラク側交渉団は、国家安全保障政治委員会への報告の中で、米との交渉は積極的なものであり、近いうちに前向きな結果に至ると楽観している。

(2) 現在の米との交渉では、3つの核となる文書について交渉が行われている。一つ目は両国間の政治経済関係を規定する枠組の合意、二つ目は交渉の最後で決定されることにある合意の種類と性質を定める議定書、三つ目は、駐留米軍のステータス、同部隊の展開場所及び任務に関する規定である。

(3) 一つ目、及び二つ目の文書についてはほぼ合意に達したが、三つ目の問題に関しては未だ交渉中である。だが三つ目の文書についても大きな進展がみられており、もはや重要な交渉のアジェンダになっていない。

2. アル・ハヤート紙

(1) 本件に関わるイラク・米国の交渉は、サーレハ副首相とクロッカー駐イラク米大使との間でほぼ毎日行われており、今後2週間以内に終了することが期待されている。

(2) 8月4日より夏期休暇に入る国民議会が同月中旬に召集され、本件に関する審議が行われる予定である。